

平成**年度 業務実績報告書(案)

平成**年**月

地方独立行政法人*****

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01		
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02		
1-1-3 診療体制の充実	03		
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04		
1-1-5 重点的に取り組む医療	05		
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06		
1-2-2 診療情報等の活用	07		
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08		
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09		
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10		
1-4-2 社会的な要請への協力	11		
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12		
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13		
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14		
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立	15		
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16		
1-6 医療型障害時入所施設の運営			
1-6-1 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の整備	17		
1-6-2 在宅医療支援体制の充実	18		

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 効果的な組織体制の確立	19		
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	20		
2-1-3 事務部門の専門性の向上	21		
2-1-4 コンプライアンスの徹底	22		
2-1-5 適切な情報管理	23		
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	24		
2-2-2 収入の確保	25		
2-2-3 費用の削減	26		
3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画	27		
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	28		
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	29		
8-3 医療機器・施設整備に関する事項	30		
8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	31		

IV 項目別の状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	<p>1-1 診療事業 岐阜地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度・先進医療、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>※ より質の高い医療の提供 法人が有する医師、看護師、コメディカル等や、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保や各職種の専門性の向上を図るための教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの推進、チーム医療体制の充実、メディカカードの導入などITの活用にも努めること。 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、院内感染対策など医療安全対策を徹底すること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。 また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p> <p>※ 診療体制の充実 医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実に努めること。</p> <p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリティカルパスの活用など地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて岐阜地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、救急医療コミュニティシステムを利用した医療画像等の患者情報の共有など他の医療機関との連携による医療提供の促進を図ること。 さらに、円滑に在宅医療・療養へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p> <p>※ 重点的に取り組む医療 高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。 特に、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療」、「がん医療」及び「女性と子ども医療」を重点医療として位置付け、さらに充実・強化して高度で先進的な医療を提供すること。 なお、子ども医療については、小児救命救急センターの設置など、拠点としての機能の一層の充実に努めること。</p>
------	---

項目No.	中期計画の取組項目	H27年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証														
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項													
01	<p>※ より質の高い医療の提供</p> <p>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>3 大学等関係機関との連携や教育</p>	<p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度専門医療の水準の維持・向上のため、医師の研修派遣を積極的に推進したことにより、派遣人数が大幅に増加した。 <p>【医師の研修派遣・受入実績人数】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	派遣	5	10	受入	7	7	<p>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要医療機器の更新・整備計画に基づき、高度先進医療機器の「*****」を新たに整備した。 <p>【更新・整備した主な機器】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備目的・用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>*****</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p>	機器名	整備目的・用途	*****		III		
	H26	H27																	
派遣	5	10																	
受入	7	7																	
機器名	整備目的・用途																		

項目No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証																																																																									
				検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																																									
4 5 6 7 8 9 10	研修の充実による優れた医師の養成 4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 5 コメディカルに対する専門研修の実施 6 EBMの推進 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 8 メディカカードの導入などのITの活用 9 医療安全対策の充実 10 院内感染防止対策の確立	5 コメディカルに対する専門研修の実施 ・ 高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成するため、コメディカルの研修・講習会への参加を積極的に支援したことにより研修参加人数が増加した。特に、臨床検査技師、薬剤師が増加した。 【コメディカル専門研修の参加人数】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線技師</td> <td>85</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>117</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>198</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>59</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>11</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>510</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> 10 院内感染防止対策の確立 ・ 感染症法の改正に伴い、感染防止マニュアルを大幅に改訂し、院内への周知を図るため、全職員参加のもと研修会を年8回開催した。		H26	H27	放射線技師	85	90	臨床検査技師	117	150	薬剤師	198	250	リハビリ技師	59	60	管理栄養士	11	10	臨床工学技士	40	40	合計	510	600	・ 看護師の退職者が大幅に増加した影響で、7：1看護体制を維持できなかった。今後、看護師採用を随時実施し、看護師の確保を図る。(●) 【医療従事者数】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>200</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>500</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>500</td> <td>505</td> </tr> </tbody> </table> 4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 ・ より水準の高い看護を提供するため、認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修等に参加できる体制を維持した。 【認定看護師・専門看護師数】 単位：人(各年度末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分野</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">認定</td> <td>がん化学療法</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>小児看護</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> 6 EBMの推進 ・ クリニカルパスの実績の検証を通して、内容の充実を図った。 【クリニカルパスの種類数等】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類数</td> <td>305</td> <td>310</td> </tr> <tr> <td>適用数</td> <td>10,018</td> <td>100,50</td> </tr> </tbody> </table> 7 専門性を発揮したチーム医療の推進		H26	H27	医師	200	210	看護師	500	450	コメディカル	500	505	区分	分野	H26	H27	認定	がん化学療法	2	2	感染管理	3	3	皮膚・排泄ケア	3	3	その他	11	12	専門	小児看護	2	2	がん看護	1	1	合計		22	23		H26	H27	種類数	305	310	適用数	10,018	100,50		
	H26	H27																																																																												
放射線技師	85	90																																																																												
臨床検査技師	117	150																																																																												
薬剤師	198	250																																																																												
リハビリ技師	59	60																																																																												
管理栄養士	11	10																																																																												
臨床工学技士	40	40																																																																												
合計	510	600																																																																												
	H26	H27																																																																												
医師	200	210																																																																												
看護師	500	450																																																																												
コメディカル	500	505																																																																												
区分	分野	H26	H27																																																																											
認定	がん化学療法	2	2																																																																											
	感染管理	3	3																																																																											
	皮膚・排泄ケア	3	3																																																																											
	その他	11	12																																																																											
専門	小児看護	2	2																																																																											
	がん看護	1	1																																																																											
合計		22	23																																																																											
	H26	H27																																																																												
種類数	305	310																																																																												
適用数	10,018	100,50																																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証										
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項										
			<ul style="list-style-type: none"> チーム医療を進めるために、ガイドラインやプロトコル等を活用し、治療の標準化の浸透を図った。 <p>8 メディカカードの導入などのITの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> メディカカードは検証段階に留まり、発行する段階には至らなかった。(●) <p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデントの報告件数の目標値として、病床数の6倍とし報告を促した。 <p>【インシデント・アクシデント報告件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>2,990</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>54</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	インシデント	2,990	3,000	アクシデント	54	55			
	H26	H27													
インシデント	2,990	3,000													
アクシデント	54	55													

(今までの様式)・・・総合医療センターの例を抜粋

Ⅲ 小項目別自己評価結果一覧表

大項目	中項目		小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果
1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組	1-1 診療 事業	1-1-1 より質の 高い医療 の提供	(1) 高度先進医療機器の計画的な更新・整備	01		
			(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 ・柔軟な職員採用、再雇用制度の構築 ・職員の柔軟な勤務時間体制の検討 ・7：1看護体制の維持 ・医療クランク等の配置拡充 ・代休取得、週休日振替の徹底 ・院内保育所の24時間保育の実施 ・職員の悩み等相談体制の整備 ・患者相談体制の整備 ・院内暴力に対する警備の強化	02		
			(3) 優れた医師をはじめとした職員の養成	03		
			(4) 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進	04		
			(5) コメディカルに対する専門研修の実施	05		
			(6) EBMの推進	06		
			(7) 医療安全対策の充実	07		
			(8) 院内感染発生原因究明・防止対策体制整備	08		
	1-1-2 患者・住民 サービスの 向上	(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ・業務のスピード化、診療時間の弾力化等 ・検査の効率的な実施、検査機器稼働率向上 ・手術の実施体制の再整備	09			
		(2) 院内環境の快適性向上 ・プライバシーに配慮した院内環境の整備 ・栄養管理の充実、病院給食の改善	10			
		(3) 医療情報に関する相談体制の整備	11			
		(4) 患者の視点に立ったより良い医療の提供	12			
		(5) インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進	13			
		(6) 満足度調査の病院運営への反映	14			

大項目	中項目		小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果		
	1-1-3 診療 体制の充実	1-1-3 診療 体制の充実	(7) 患者支援システム(メタボリックシンドローム予防センター)の創設	15				
			(1) 医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実	16				
			(2) 多様な専門職の積極的な活用	17				
			1-1-4 近隣 医療機関等 との役割分 担・連携	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上	18			
				(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及	19			
				(3) 退院後の療養に関する各種情報の提供	20			
			1-1-5 重点 的に取り組 む医療	1-1-5 重点 的に取り組 む医療	(1) 救命救急センター(救命救急医療)	21		
					(2) 心臓血管センター(心臓血管疾患医療)	22		
					(3) 母と子ども医療センター(周産期医療と子ども医療)	23		
					(4) がん医療センター(がん医療)	24		
					(5) 女性医療センター	25		
					(6) 重症心身障がい児の入院機能及び小児救急	26		
			1-2 調査 研究 事業	1-2-1 調査・臨床 研究等推進	(1) 治験受託件数の増加・治験センター認定	27		
					(2) 臨床研究部(仮称)の創設	28		
	1-2-2 診療情報 活用	(1) 医療総合情報システムの各種データの有効活用		29				
			(2) 集積したエビデンスの活用	30				
	1-2-3 保健医療 情報の提供	1-2-3 保健医療 情報の提供	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催	31				
			(2) 保健医療、健康管理等の情報提供	32				
	1-3 教育 研修 事業	1-3-1 卒後臨床 研修等の充実	(1) 質の高い医療従事者の養成	33				
(2) 後期研修医(レジデント)に対する研修等			34					
1-3-2 看護学生、 救急救命士等教育	1-3-2 看護学生、 救急救命士等教育	(1) 医学生、看護学生の実習受入れ	35					
		(2) 地域医療従事者への研修の実施及び充実	36					
1-4-1 地域医療	1-4-1 地域医療	(1) 地域医療水準の向上	37					

大項目	中項目	小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果	
4 地域 支援 事業	への支援	(2) 医師不足、へき地医療機関への人的支援	38			
		(3) へき地医療対策の支援	39			
	1-4-2	社会的な要請への協力	40			
	1-5 災害 等発生時 の医療救 護	1-5-1 医療救護 活動の拠点機能	(1) 医療救護活動拠点機能確保、訓練実施	41		
			(2) 基幹災害医療センター機能強化	42		
		1-5-2 他県等の医 療救護への協力	(1) 大規模災害発生時のDMA Tの派遣	43		
			(2) 訓練・研修への派遣	44		
	2 め の 取 組	2-1 1 効率的な 業務運 営体制 の確立	2-1-1	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築	45	
			簡素で効果的な 組織体制の確立	(2) 各種業務のIT化の推進	46	
				(3) アウトソーシング導入による合理化	47	
(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立				48		
2-1-2 診療体制、人員配 置の弾力的運用		(1) 弾力的運用の実施	49			
		(2) 効果的な体制による医療の提供	50			
		(3) 3法人間人事交流による適正な職員配置	51			
2-1-3		人事評価システムの構築	52			
2-1-4		事務部門の専門性の向上	53			
2-2 業務運 営の見 直しや 効率化 による 収支改 善		2-2-1	多様な契約手法の導入	54		
		2-2-2 収入の確保	(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的活用	55		
			(2) 未収金の発生防止対策等	56		
			(3) 退院時の開業医への紹介率の向上	57		
		2-2-3	費用の削減	58		
3	予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画		59			
4	短期借入金の限度額		—			

大項目	中項目	小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果
5	重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画		—		
6	剰余金の使途		—		
7	料金に関する事項（※年度計画の対応項目を省略）		—		
営 に 関 す る 事 項	8 — 1 職員の就労環境の向上	(1) 最適な勤務環境創出	60		
		(2) 柔軟な勤務形態採用、時間外勤務縮減、休暇取得促進、特別休暇制度新設等	61		
		(3) 健康管理対策の充実	62		
		(4) 福利厚生施設等の充実	63		
		(5) 学会等参加支援、研修・講習会充実	64		
	8-2	県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	65		
	8-3	医療機器・施設整備に関する事項	66		
	8-4	法人が負担する債務の償還に関する事項	67		
	8-5	中期目標の期間を超える債務負担	—		

IV 項目別の状況

- 1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-1 診療事業
 1-1-1 より質の高い医療の提供

中期目標	<p>診療事業</p> <p>岐阜地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>より質の高い医療の提供</p> <p>法人が有する医師、看護師、コメディカルや、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。</p> <p>特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保等に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。</p> <p>また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に努めること。</p> <p>さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、医療安全対策を徹底すること。</p>
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項								
01	<p>・高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>医療環境や県民の医療需要の変化、新たな医療課題に適切に対応するとともに、病院の医療機能の維持・向上を図るため、高速X線CT装置(MDCT)、MR I等の高度先進医療機器を計画的に更新し、整備を進める。</p>	III	III	III	IV	<p>・高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>循環器画像保存システムや内視鏡画像保存システム等の高度先進医療機器を計画的に更新し、整備を進めるため、中期計画期間中(平成26年度まで)の主要医療機器の更新・整備計画(平成25年度更新)に基づき、合理的・効率的な更新・整備を進める。</p>	<p>・平成26年度は、診療科・部による中長期計画及び稼働状況等を勘案し、主要医療機器の更新・整備するとともに、導入機器の稼働状況の把握と向上に努め良好な実績を出すことができた。</p> <p>・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案しつつ、当センターの目指す高度医療と併せて人材育成を見据えた視点から、先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。</p> <p>・代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名等</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術用顕微鏡</td> <td>脳神経外科領域において必要な機器</td> </tr> <tr> <td>循環器画像保存システム</td> <td>心臓カテーテル画像を保管</td> </tr> <tr> <td>内視鏡ファイリングシステム</td> <td>内視鏡検査業務の運用サポート</td> </tr> </tbody> </table>	機器名等	整備目的・用途等	手術用顕微鏡	脳神経外科領域において必要な機器	循環器画像保存システム	心臓カテーテル画像を保管	内視鏡ファイリングシステム	内視鏡検査業務の運用サポート	III		
機器名等	整備目的・用途等																	
手術用顕微鏡	脳神経外科領域において必要な機器																	
循環器画像保存システム	心臓カテーテル画像を保管																	
内視鏡ファイリングシステム	内視鏡検査業務の運用サポート																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																																							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																						
						・更新・整備を実施した機器の稼働件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元マッピングシステム・アブレーションシステム</td> <td>H22</td> <td>87</td> <td>121</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ装置</td> <td>H22</td> <td>2,149</td> <td>1,376</td> <td>1,498</td> </tr> <tr> <td>X線TV装置</td> <td>H22</td> <td>1,478</td> <td>1,777</td> <td>1,833</td> </tr> <tr> <td>MR I 装置のアップグレード</td> <td>H23</td> <td>4,895</td> <td>5,008</td> <td>5,147</td> </tr> <tr> <td>デジタル式乳房用X線撮影装置</td> <td>H23</td> <td>4,197</td> <td>4,287</td> <td>4,740</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>H23</td> <td>1,820</td> <td>1,822</td> <td>1,842</td> </tr> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)</td> <td>H24</td> <td>2</td> <td>50</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>X線CT装置</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>26,316</td> </tr> <tr> <td>エキシマレーザー血管形成装置</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>30</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド手術システム</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>410</td> <td>861</td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡</td> <td>H26</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>循環器画像保存システム</td> <td>H26</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>内視鏡ファイリングシステム</td> <td>H26</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				機器名	年度	H24	H25	H26	3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	H22	87	121	168	ガンマカメラ装置	H22	2,149	1,376	1,498	X線TV装置	H22	1,478	1,777	1,833	MR I 装置のアップグレード	H23	4,895	5,008	5,147	デジタル式乳房用X線撮影装置	H23	4,197	4,287	4,740	超音波診断装置	H23	1,820	1,822	1,842	内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	H24	2	50	88	X線CT装置	H25	—	0	26,316	エキシマレーザー血管形成装置	H25	—	30	22	ハイブリッド手術システム	H25	—	410	861	手術用顕微鏡	H26	—	—	8	循環器画像保存システム	H26	—	—	—	内視鏡ファイリングシステム	H26	—	—	—			
機器名	年度	H24	H25	H26																																																																														
3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	H22	87	121	168																																																																														
ガンマカメラ装置	H22	2,149	1,376	1,498																																																																														
X線TV装置	H22	1,478	1,777	1,833																																																																														
MR I 装置のアップグレード	H23	4,895	5,008	5,147																																																																														
デジタル式乳房用X線撮影装置	H23	4,197	4,287	4,740																																																																														
超音波診断装置	H23	1,820	1,822	1,842																																																																														
内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	H24	2	50	88																																																																														
X線CT装置	H25	—	0	26,316																																																																														
エキシマレーザー血管形成装置	H25	—	30	22																																																																														
ハイブリッド手術システム	H25	—	410	861																																																																														
手術用顕微鏡	H26	—	—	8																																																																														
循環器画像保存システム	H26	—	—	—																																																																														
内視鏡ファイリングシステム	H26	—	—	—																																																																														
						・主要検査機器の稼働実績件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PET (1台)</td> <td>外来</td> <td>1,288</td> <td>1,374</td> <td>1,354</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>66</td> <td>86</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table>						H24	H25	H26	PET (1台)	外来	1,288	1,374	1,354	入院	66	86	84																																																											
		H24	H25	H26																																																																														
PET (1台)	外来	1,288	1,374	1,354																																																																														
	入院	66	86	84																																																																														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					評価委員会の検証		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項					自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							MR I (2台)	外来 入院	10,105 2,168	10,810 2,141	11,840 2,470			
							C T (2台)	外来 入院	24,488 6,246	27,048 7,006	29,960 7,049			
05	・コメディカルに対する専門研修の実施 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修制度を検討・整備し、研修センターの機能を強化する。	III	IV	IV	IV	・コメディカルに対する専門研修の実施 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。 【中央放射線部】 ・診療放射線技師実習施設指導者講習会 ・放射線治療セミナー ・放射線治療品質管理士講習会 ・医学物理コース研修 ・がん医療における放射線の治療の品質管理高度専門セミナー ・PET研修セミナー ・I-131アブレーション研修セミナー ・その他各種学会、研修会等への参加 【臨床検査科】 ・細胞検査士 ・超音波検査士（循環器、消化器等） ・認定輸血検査技師 ・日本糖尿病療養指導士 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・血管診療技師 ・認定心電検査技師 ・日本エコー学会認定検査技師 ・認定一般検査技師 ・認定血液検査技師 ・認定管理検査技師 ・二級緊急臨床検査士 ・二級臨床検査技師（微生物学、病理学等）	希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。	・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。 特に、各コメディカルでは医療法や施設基準等で定めた診療科の体制等に連携し、長期計画を策定したうえで人材の育成に努めた。 主な参加講習会等 【中央放射線部】 ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会 ・日本放射線治療セミナー ・日本核医学学会 ・日本磁気共鳴医学会 ・医学物理士ミニマム講習会 ※H26 年度資格取得者 ・X線CT認定技師1人 【臨床検査科】 ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本超音波学会 ・心臓リハビリテーション学会 ・日本臨床微生物学会 ・認定心電図検査技師講習会 ・日本輸血・細胞治療学会 ・日本心エコー学会 ※H26 年度資格取得者 ・心臓リハビリテーション指導士1人 ・緊急臨床検査士1人 ・超音波検査士（消化器領域）1人 ・超音波検査士（血管領域）1人 ・超音波検査士（循環器領域）1人	IV					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<ul style="list-style-type: none"> ・その他各種学会、研修会等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・認定心電図検査技師 1人 ・2級臨床検査士 1人 ・特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者 3人 ・有機溶剤作業主任者 2人 			
					<p>【薬剤センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん専門薬剤師 ・感染制御専門薬剤師 ・糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【薬剤センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全自病 医薬品安全管理責任者等講習会 (マネジメント) ・全自病 薬剤管理研修会 (薬剤業務全般) ・日病薬 新任薬剤師研修会 ・日本医療薬学会年会 ・日本薬剤師会学術大会 ・日病薬・日薬東海ブロック合同学術大会 ・日薬東海薬剤師学術大会 ・実務実習指導薬剤師ワークショップ ・日本麻酔科学会 周術期セミナー ・日薬病院診療所薬剤師研修会 ・岐阜県病院協会医学会 ・岐阜県病院薬剤師会研修会 <p>※H26 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務実習指導薬剤師 1人 				
					<p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学会合同呼吸療法認定士 ・心臓リハビリテーション指導士 ・AHA BLS ICLS プロバイダ ・日本糖尿病療法指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 ・認定作業療法士 ・認定ハンドセラピスト ・その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 ・リハビリテーションのための脳神経科学入門研修会 ・日本高次脳障害学会夏期教育研修 ・岐阜呼吸管理研究会 ・摂食・嚥下障害セミナー <p>※H26 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸療法認定士 3人 				
					<p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・病態栄養専門師 ・その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床栄養学会 ・自治体病院栄養部会研修会 				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<p>【臨床工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学会合同呼吸療法認定士 ・対外循環技術認定士 ・透析技術認定士 ・その他各種学会、研修会等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県病院協会学会 ・日本病院会栄養管理セミナー ・日本静脈経腸栄養学会 ・日本病態栄養学会年次学術集会 <p>※H26 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本糖尿病療養指導士2人 <p>【臨床工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床工学技士会 ・岐阜県臨床工学技士会セミナー ・岐阜県臨床工学技士会学術大会 ・医療機器安全基礎講習会 (ME 技術講習会) ・透析液安全管理責任者セミナー ・日本人工臓器学会教育セミナー <p>※H26 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホスピタルエンジニア1人 			
						コメディカル専門研修の参加人数 単位：人				
							H24	H25	H26	
						放射線技師	51	30	85	
						臨床検査技師	138	100	117	
						薬剤師	172	207	198	
						リハビリ技師	125	69	59	
						管理栄養士	13	10	11	
						臨床工学技士	45	22	40	
						合 計	544	438	510	